

焼却施設の場合は資料1-bを添付してください。

資料1-a

1. 処理する産業廃棄物（焼却施設を除く）

（1）産業廃棄物の発生概要・外観等

例：市内の建設等工事現場で発生する建設系廃棄物（廃プラスチック類）。

発生概要（フロー図のとおり。）

（2）産業廃棄物の種類及び計画量・組成等

廃棄物の種類	計画処理量 t・m ³ /日()時間 t・m ³ /時間	組成 (%)			pH	金属等の種類及び量	形状等
		水分	油分	主成分（種類及び量）			
※処理の予定があるすべての品目を記載してください。	※日量と時間量の両方を記載してください。						※外観形状を記載してください。 例：液状 泥状 固形状 粉粒状
上記混合物							

（注）金属等の量は含有量または溶出量の別を明記すること。

2. 处理残さ物の性状及び処分先等

3. 産業廃棄物処理施設の稼働計画

(1) 施設及び処理の稼働計画

1日の稼動タイムスケジュール（24時間表記）	実稼動時間	1日当たり	9時間00分	(施設の立上げ下げ等の時間を含む)
	実処理時間	1日当たり	8時間00分	
施設稼動開始時間	8時30分	稼動日数	年間 276 日	(平均 23 日／月・停止曜日： 土、日)
処理開始時間	9時00分		(理由)	・有
処理終了時間	17時00分	季節的変動 の有無	・無	※季節変動がある場合は理由を記載してください。
施設稼動停止時間	17時30分			

(2) 处理施設で使用する用水・電力・燃料及び薬剤等

該当しない場合は表に斜線を入れて該当なしと記載してください。

4. 排ガスの処理対策

(1) 排ガス処理設備前後の排出ガス量及び大気汚染物質濃度

(注) 排ガス中の物質濃度は、湿りガス中の濃度

5. 排水の処理対策

(2) 排水処理設備前後の水量及び水質

6. 臭 气 対 策

(1) 臭気対策の概要

例：処理施設は屋内設置とし、建屋内を負圧に保ち建屋外への悪臭の発散を防止します。

また、脱臭装置を設け、定期的にフィルター交換を実施します。

※生活環境影響調査に記載した内容を反映させてください。

※ 悪臭処理設備を設置する場合は、当該設備の処理系統図を添付すること。

(2) 悪臭処理設備前後の主な臭気物質濃度

該当しない場合は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

処理設備名称		臭気指数	臭 气 物 质 濃 度 (処理前が定量下限値未満の物質を除く)								
			○○ (ppm)	○○ (ppm)	○○ (ppm)	○○ (ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)
(例) 活性炭吸着式 脱臭装置	処理前	○○	○○	○○	○○	○○					
	処理後	○○	○○	○○	○○	○○					

7. 騒 音 対 策

(1) 騒音対策の概要

例：騒音発生源は屋内設置とし、低騒音型を採用するとともに吸音材、防音カバーを設けます。

※生活環境影響調査に記載した内容を反映させてください。

8. 振動対策

(1) 振動対策の概要

例：振動発生源は屋内設置とし、強固な機械基礎に防振架台を設け据付ます。

※生活環境影響調査に記載した内容を反映させてください。

9. 事業概要及び管理体制

事業概要						
担当者	○○ ○○	電話	○○○-○○○-○○○○	資本金	○○○○万円	従業員数 ○○○○人
技術管理者	○○ ○○					
産業廃棄物処理責任者	○○ ○○					

資料 7

施設の設置及び維持管理に要する資金総額及び資金調達計画等

1 施設設置等資金総額

項目	金額
施設購入費	円
その他機器費	円
施工費	円
	円
	円
計	円

2 資金調達計画

資金の種類		金額	借入金調達先 (金融機関等)	金利 償還期間
自己資金		円		
借入金	資金	円		
	資金	円		
	資金	円		
その他	資金	円		
	資金	円		
	資金	円		
計		円		

3 施設の維持管理費用の総額

(単位：千円)

項 目	金 額
運 転 管 理 費	円
消 耗 品 費	円
電 気 ・ 水 道 ・ 燃 料 費	円
薬 剤 費	円
修 繕 費	円
計	円

4 収支計画

(単位：千円)

度		直近決算	年	年	年	年
収 入	売 上 高(A)					
	営業外収入等(B)					
	計(C)=(A)+(B)					
支 出	経 費(D)					
	販売原価					
	一般管理費					
	営業外費用等					
計(F)=(D)+(E)						
税引前当期利益 (C)-(F)						
当期利益						

※ 施設の維持管理費用については、一般管理費に含まれています。

焼却施設以外の場合は不要です。

資料 1 - b

1. 処理する産業廃棄物（焼却施設）

(1) 産業廃棄物の発生概要・外観等

発生概要（フロー図のとおり。）

(2) 産業廃棄物の種類及び計画量・組成等

廃棄物の種類	計画処理量 t·m ³ /日()時間 t·m ³ /時間	組成 (w e t %)							発熱量 (kcal/kg)	金属等の 種類及び量	形状等			
		水分	可燃分											
			C	H	O	N	S	C1						
上記混合物														

(注) 金属等の量は廃棄物 1 Kgあたりの含有量を記入すること。